



ちゅっ…♡
…んっ…♡

…んっ…♡
はむ…んっ…♡

一瞬…

何が起きたか
わからなかった…

目の前に甘い
香りが広がり
憧れのお姉さんが
ボクに…

キスをしていた…

んっ…♡

お姉さんが
ゆっくりと離れる…

ドキドキ…

んっ♡

お互いのクチの間に
唾液の糸がのび
ぶつんと途切れる…

すごくイヤらしい
光景に思えて
ボクはまだ
ドキドキしてる…





ふふ…
キスしちゃった…♡

ボク君があまりに
可愛くて…お姉さん
我慢できなくなっちゃった♡

あ…あの…

ねえ…

もう一回してらさ…♡



ちゅっ…
ちゅっ…
…んっ…
…んっ…
…んっ…
…んっ…

さっきより少し
長めのキス…

今度はボクの
唇の感触を
確かめるように
角度を変えたりしながら
唇を触れあわせる…

ん…
…あむ…
…んっ…
…んっ…
…んっ…
…んっ…

ほんの数秒だった
はずなのに
ボクには長い時間に
感じられた…

ちゅっ♡



ふふっ…

今日のことは

二人だけの秘密だからね♡

誰にも言っちゃ

ダメだよ…♡

ドキドキ…

あまりのことに

ただ黙って

うなづくことしか出来ず

お姉さんが部屋を

出て行ったあとも

ボクはドキドキが

収まらなかった…

一週間前…

ボクはある事情によりこの病院に入院することになった…



たいしたことはないのだけれど両親が大事をとって…ということでもう個室まで与えられボクは素直に従うことになった…

うふふ…私が
ボク君の担当になる
ナースの桃宮涼子だよ
よろしくね♡

担当になった
ナースのお姉さん

はじめて会った時…
あまりにキレイで美人な
お姉さんに面くらいら
るくに目も合わせられず
ドキマギしたのを覚えている…



うふふ…♡
困ったことが
あったら
なんでも言っ
てね♡

お姉さんは
優しくとて
も人なつこ
い

少し目のやり
場に困るけ
れどこんな
キレイな人
に毎日看護
してもら
えるなんて
ボクは嬉し
い気持ち
でいっぱい
だった…



そして数日後



ん…ちゅっ♡
ん…ちゅっ♡
ん…ちゅっ♡

いつの頃からか
お姉さんは
定期検診の度に
ボクにキスを
するようになった…

あむ…ん…
…ちゅっ…♡

キスされる度に
頬が赤くなり
ドキドキしてしまっ…

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ふふ…
ボク君凄く
ドキドキしてる…♡

軽く触れあつた
お互いの胸から
動悸が伝わる…

ドキドキ…

お姉さんの胸が
当たっていることを
意識すると
ボクはさらに胸の動悸が
激しくなる…

今日は時間が
あるから
イイコトしてあげる…



するとお姉さんは
ボクの股間を
触ってきた…

ちよ…あの…!

ふふっ…
ボクのココロ…こんなに
大きくなってる♡

さわっ

突然のことで
ボクは何を
されているのか
わからなかった

大丈夫…
じっとして…

お姉さんが
君のおちんちん
良くしてあげる…♡

おちんちん
ビクビクしてる♡
ボク君可愛い…♡

ほら……ここを擦ると
特に気持ちイイでしょ？
いっぱいシコシコ
してあげる♡

そう言って
裏スジのあたりを
集中的に何度も何度も
擦りあげてくる…

は…♡
シコシコシコ♡

お姉さんはボクの
反応を楽しむように
イヤらしい手ツキで
ボクの股間を弄び
はじめての快感に身を震わせる…



上も下もはじめての
快楽に満たされ
目の前が桃色に
染まったような感覚になる…

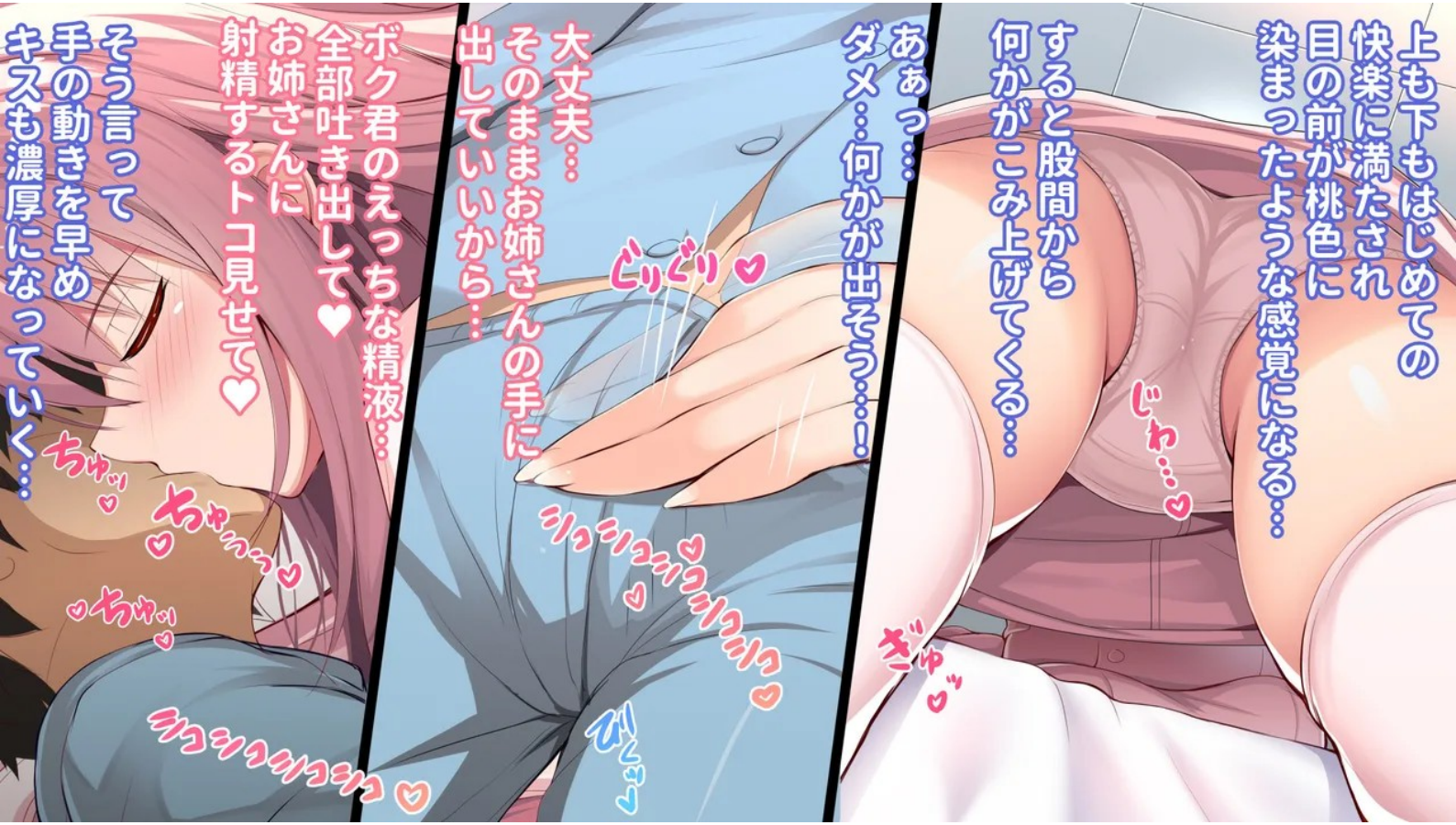
すると股間から
何かがこみ上げてくる…

ああっ…
ダメ…何かが出そう…!!

大丈夫…
そのままお姉さんの手に
出していいから…

ボク君のえっちな精液…
全部吐き出して♡
お姉さんに
射精するトコ見せて♡

そう言って
手の動きを早め
キスも濃厚になっていく…



あああ…ッ！

びるびるッ！

今までより一際
強い快感が全身を襲い
何かが股間から飛び出す

気づけば
ボクの股間と
お姉さんの手は
白いどろどろした
液体で汚れていた…

ふふ…♡
ボク君のえっちな初射精
お姉さんがもらっちゃった♡
がんばったね♡
偉い偉い♡

そう言って
またお姉さんは
ボクにキスをするのだった…



それから数日後…

ボクは毎日
お姉さんのことを
考えるようになっていた



お姉さんの
ことを考えると
胸がドキドキして
顔が熱くなってしまう…

気がつけば
ナースステーションの
あたりを歩いては
お姉さんの姿を
探してしまっている…

あれ、ボク君どうしたの？
もしかして
お姉さんに会いに
来てくれたのかな？

嬉しそうに
ぴよんぴよんと
跳ねながら
近づいてくる…

うふふっ♡
嬉しいなあ

ちようど今から
小休憩なの！
少しだけお姉さんと
遊ぼっか♡



ほら、こっち
来て…

え…でも
ここって
女子トイレ…

いいからいいから♡
ここはほとんど人が
来ないから大丈夫だよ♡

そういう問題
じゃないような気が
するけど…
お姉さんに促されて
つい中に入ってしまう…

男のボクが
女子トイレに入るなんて
いけないことを
してるみたいで
ソワソワしてしまう…

奥の個室に入り
カギを閉める…
狭い空間に男女
二人という状況に
またドキドキしてしまう…

パンッ
わんわん…



中に入ると突然
お姉さんは
スカートをまくり上げ
下着が見える格好になる…

突然のことに驚いて
あたふたするが
ボクの視線は
お姉さんの下着に
釘付けになる…

うふふ♡
女の人のパンツ
見れて嬉しい？

なるんっ

グインッ

いぢっ♡

そう言われて
見ない少年なんて
いるんだらうか…

ドキドキ…
ドキドキ…
ドキドキ…

本来見ても
イケナイものを
見ているという背徳感と
女の人の下着という
魅惑の光景に

ドキドキしながらも
目を逸らせず
凝視してしまっ…

あん♡
そんなに熱い目で
見られたら
お姉さんまで
ドキドキしちゃっ♡

キググ





ねえ…ボク君
お姉さんの下着
脱がして欲しいな…♡

お姉さん
お仕事でずっと
おしっこ我慢してたから
いっぱい溜まっちゃってるの♡

ねえ…脱がせて…♡

凄いことを
お願いされている
ようだけど
ボクはもう
考えないことにした

言われるがまま
お姉さんの下着に
手をかけ
ゆっくりと脱がせていく…

よく見えるように
指で開いて
見せてくれる…

おちんちんとは
違うけれど

とてもエッチな形を
しているのはわかる

ここがおしっこを
する穴で…

こっちはクリトリス♡

そしてここが

男の人とえっちな

コトをする穴だよ♡

一つずつ指を指して

説明してくれる…

よく見て

覚えてね…♡





じゃあ今から
おしっこするから...
よく見てて...

ん...っ♡
あっ...♡

お姉さんから
甘い吐息がもれ
おしっこをぽろぽろ
しているのがわかる...

あっ...♡

あっ...んっ♡
あっ...ん♡

ふん♡

んっ



ぷしゃああああああ……♡
ちよんちよんちよんちよんちよん♡

やだ……♡

こんな勢いよく……♡
んっ……とまらない……♡

……ああっ♡

黄金色の液体が
勢いよく飛び出す……

女の人の股間から
おしっこが出ている
だけなのに……
ボクはとても興奮して
胸が熱くなっていた……

ちよちよちよちよ

びく♡

びく♡

ふんふん!

あっあっ……♡
ダメ……こんなの……♡



男の子に
おしっこするトコ

見られてると……あっ♡

んっ……気持ちイイ……♡

……ああ……♡

ひんひん♡

んはああ……♡

……もっど見てえ♡

お姉さんが

はしたなくおしっこするトコ

たくさん見てえ……ああ……♡

ちよろるるるるるるる♡

かなりおしっこを

溜めていたようで

まだまだ

収まりそうじゃない……

じゅるん♡

ひん♡

ひん♡



んはあああ…
んっ…んっ…
♡

あっ…♡

ようやく収まり
股間からは
ぴゅっぴゅと微かな
水滴が漏れるだけになった

うふふ…
ボク君に全部
見られちゃった…♡

イヤらしい目で見られて
すごく恥ずかしかったん
だからね…♡

ぞわ

ぞわ

ぞわ

ぞわ



ねえ最後に
お姉さんのアソコ
キレイに拭いて欲しいな...♡

女の人は
おしっこした後
パンツが汚れないように
ティッシュで拭くんだよ♡

もう今さら
何を言っても
しかたないと思い
ボクはティッシュを
手にとる...

ティッシュを手
涼子さんの大事な
所に触れる…

あんっ…♡
…あっあっ…♡
いいよ…上手…♡
そのまま…んっ♡
もう少し拭いて…
…あん…♡

ティッシュごしとはいえ
女の人の大事な所を
丁寧に拭いてあげる
という行為に
ボクはまたもドキドキ
してしまう…

こわっ
フキフキ♡





あっ…♡
…んっ…あっ♡

もっと奥まで…♡

そこ…イイ…♡

…あッ…♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

あん…♡
男の子に…♡

おしっこ拭いて♡

もらって…♡

こんなの…あっ♡

変になっちゃう…♡

…んはあ…♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

んっ♡
そんなに…開いちゃ♡

…ああ…んっ♡

そこ…好き…♡

ああ…あっ♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

あっ♡
拭いているだけなのに♡

イヤらしい声をあげ♡

色っぽく悶える♡

お姉さんを見て♡

ボクは興奮してしまう…♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

ふふ…ありがとう♡
お姉さんの大事な所
触られちゃった♡

またお姉さんのおしっこ見たくなったらいつでも見せてあげるからね♡

その言葉に
なぜか嬉しくなってしまう…



あれ〜？
君のココロ…すっごく
大きくなってる♡

あっという間に
涼子さんに服を
脱がされてしまう…

これは何かな〜？

もしかして〜？
お姉さんのおしっこする姿を
見て興奮しちゃった？

ぎゅっ

しぎゅ♡

しぎゅ♡



胸を押しつけられ
身動きがとれない…

ト…ト…♡

ほらほら♡
どうなの？

スリスリスリ…♡

正直に答えないと

いつまでも

このままだぞと

言わんばかりに

絶妙な力加減で
手を上下させ
刺激を与えてくる…

ふふ…♡

スリスリスリ…♡

ヌク♡

キュウ♡

はい…
お姉さんの
おしっこする姿
とてもエッチでした…

スリスリ…♡

は〜い♡
よく言えました♡
そうなんだ♡
お姉さんで
興奮しちゃったんだ♡

とても
嬉しそうに言う

じゃあ正直に
言えたボク君には
ご褒美あげなげやね♡



は〜い♡
おちんちん
シコシコシコ♡

ムムムム♡

ムムムム♡

うふふ…どう…?
おちんちんを女の人に
手で触ってもらうの
嬉しいでしょ…?

ムギョウ♡

ビッ!

そう言いながら
優しい手つきで
手を上下させ

手が動く度に快感が
体中を駆けめぐる…





ふふ♡
感じてるボクの顔
かわいい♡
もっとお姉さんに見せて♡

ほらほら♡
ココとか…ココとか♡

ボク君の弱い所

ちよつとずつ

わかってきちゃった…♡

こういうの好きだよね♡

ぐりぐりぐり♡

裏スジのあたりを

刺激してくる…

うふふ…やっぱり♡

いいんだよ…いっぱい

気持ち良くなつて♡

お姉さんがたくさん

シテあげる♡

ギョッ♡
ぐり♡
ぐり♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

こんなにおちんちん
ビクビクさせて…♡
ほんとエツチなんだから…♡

手の動きが
だんだん早くなり
快感が強まってくる…
お姉さんの柔らかい胸が
ぎゅうっと押しつけられ
お互いのドキドキが
伝わってくる…

涼子さんと
目があい…
ボクはより一層
ドキドキと快感が高まる…
うふふ♡

もうイキそう…??
いいよ…お姉さんの手に
射精して…♡見ててあげる♡





びゅるるるるるッ！
ビクビクッ！！
勢いよく白い液体が
涼子さんの手の中で
爆発する…

ひゅるるるる！！
ビクッ！！

うふふ…♡
熱いのいっぱい出たね♡
気持ち良かった…？

ボクはいまだに
射精というものが
よくわかっていないが
おちんちんが気持ちよ
くになると出るようだ…

あん…こんなに
イヤらしい匂い…♡
お姉さん変な気分
になっちゃう…♡

うっとりした
表情でボクが出した
精液を舌でなめるとる…
すごくイヤらしい…

うふふ…一回
射精したのにまだ
こんなに元気…♡
まだまだしてアゲる♡

涼子さんが手の
動きを再開させる…
射精で一度
終えたばかりなのに
すぐにまた気持ち良さが
こみあげてくる…

今度は♡
君の弱いところ
ばっかり責めちゃう
からね…♡

えいえい…♡♡



ふふ♡
おちんちんが
ビクビクしてきた♡
射精そうなんだね♡

カクカク♡
ニャ♡
ニャ♡
ニャ♡
じりじり↓

いっぱい抱きしめてて
アゲルから…♡

お姉さんにまた
エッチな精液
出しちゃう所見せて♡

胸が押しつけられ
手の動きが激しくなる…

むい♡

涼子さんに見つめられ
玉の裏から何かが
かけあがってくる…

ほら♡ イッチャえ♡
イッチャえ♡

ぎゅん♡
ぎゅん♡

んんん!
んんん!





びゅるるるるっ!!

びくびくっ!!

二回目にもかかわらず
大量の精液があふれ出す...

びゅるるるるるる!!
びゅるるるるるる!!

あん...っ♡

二回目なのに

こんなに射精しちゃう

なんて...♡

お姉さんの手が

犯されちゃう...♡

びゅるる!!

びゅる!!

びゅる

相変わらず嬉しそうに

ボクの精液を

舌でなめとる...

ぺるぺろ...♡

んっ...ぺろ...♡

...ちゅぱ...うぐ...んっ...♡

お疲れ様♡
気持ちよかった？

お姉さん

そろそろお仕事に

戻らなきゃいけないから

ゴメンね♡

寂しくなったら

これでお姉さんのコト

思い出してね♡

他の人には

ヒミツだよ♡

そう言って

手渡されたのは

お姉さんがさっき

履いてたパンツだった…

よく見ると股間の部分に

シミがついていて

ボクはドキドキしながら

それをポケットにしまった…



数日後…

あの…体くらい
自分で拭けますから…

いいからいいから♡
お姉さんにやらせて♡

ボク君の体キレイに
しちゃうんだから♡

突然涼子さんが
ボクの体を洗いたい
と言いだした…
自分で出来ること
言っても涼子さんの
いつものノリで
押し切られてしまっ…



うふふ、ボク君
意外とたくましい体
してるんだね♡

さすが男の子♡

なぜか体の色んな所を
さすりながら
嬉しそうに言っ…

褒められている
はずなのに
なぜか変な意味に
感じてドキドキ
してしまっ…

はっい♡じっと
しててくださいね♡

体を拭くだけなのに
なぜか嬉しそうだ…



ふきふき...♡

痛いところや

かゆいところは

ないですか？

床屋さんみたいなの

コトを言ってくる...

涼子さんがやたらと

密着してくるせいで

柔らかい胸や

ふとももが

当たってボク自身

とても落ち着かない...

顔も触れそうな

くらいに近く

時おり髪の毛が

触れてドキドキ

してしまう...

どうして女の人って

こんなに良い匂いが

するんだらう...



キレイキレイに
しないとね♡

気づけば拭き方が
だんだんエッチな
感じになっている…

胸のまわりを
重点的に拭いたり
さりげなく乳首に
何度も当たる
ようにしたり…
拭き方自体円を
描くようなイヤらしい
感じになっていたり…

ココとかどうですか？
こういう方がいい？♡

タダでさえ女の人に
裸を触れられているだけで
ドキドキするのに
ボクは変な気持ちを抑えられない…



むくむく…

あれあれ…?

むく

むく

これは何かな〜？♡
お体フキフキ
してるだけなのに♡
テントさんが出てきたぞ〜♡
ボク君ったら♡
何考えてたのかな〜♡
うふふ…♡

とても嬉しそうに
ボクをからかう…



もしかして、
こっちもフキフキして
欲しいのかな？

指先で円を
描くように
軽く触れる…

あっそれは…!

焦らすように
何度も何度も
指をくるくると
回転させる…

ほらほら？
どうなの？



今度は
カリ首をカリカリと
優しく引っ掻いてくる…

あああ…だめっ!

ほらほら〜♡
正直に言わないと〜
ずっとこのままだぞ〜♡

あああ…
ごめんなさい…
お体拭いてるだけ
なのにえっちな
コト考えてました…
お…おちんちん
もっとゴシゴシ
して欲しいです…!

んふふふ♡
どうしようかな〜♡



10/10!

イヤらしいコト
考えてた悪い子には
オシオキが必要かな〜♡

これはどう〜？
指全体を使って
スリスリ〜ってするの♡

指先で
おちんちん全体を
包むように何度も
何度も上下させる…
もどかしくて
たままないでしょ♡
ほ〜らジコジコジコジコ♡

ゾワゾワとした
気持ち良さが
全身を駆けめぐる…
ほらほら〜♡

裏スジとか好きだよね〜♡

たまらない気持ち良さなのに
イキそうでイケないような
絶妙な力加減で
刺激を与え続けられる…



うふふ…♡
それじゃあ
今度は手を緩めないで
最後までシテあげる…♡
えいえいっ…♡

さっきまで優しい
手つきだったのが
しっかりとおちんちん全体を
責める強さになり
手の動きがだんだんと
早くなる…

さっきと
比べものにならない
快感が襲いかかり
あっという間に
余裕がなくなる…

あん…♡
ボク君の声可愛い♡
いいんだよ…
いっぱい気持ち良くなって♡



ああ…だめっ！

びゅるるるるるるるっ！

精液が飛び出す直前に

涼子さんはぎゅっ

抱きしめ胸やふとももを

押しつけてくる…

あんっ♡

こんなにいっぱい…♡

またボク君の精液

お姉さんが絞りとっちゃった♡

ほくら♡

最後まで全部

出しちゃおうね♡

スリスリスリスリ…♡

射精した後も

絞りきるように

何度も手を上下させ

甘い刺激を続けてくる…





もう…
一度射精したのに
まだこんなに元気だなんて…
ボク君ホントに変態さん
なんだね…♡
女の人に向かって
勃起したおちんちん
向けるなんて
イケないんだぞ♡

ごめんなさい…

うふふ…♡
許してあげる…♡



はく、えっちな
おちんちんさん
こんにちわ♡
どこか痛いところは
ありますか？
すごく腫れ
あがってますね♡
これは治療しないと
いけません♡

ホッ！

涼子さんは
楽しそうに
お医者さんごっこを
している…
しかし勃起した
おちんちんを
女の人に
じっくり見られて
とても恥ずかしい…

するとおもむろに
涼子さんは
ボクのおちんちんを
くわえた…

ちよ…何して…

大丈夫…
お姉さんに
まかせて…♡

じゆる…ぺろ…
ふふ…こんなにして…♡
ホントにえっち
なんだから…ちゅ…♡

おちんちんの先を
舐めたりキスしながら
少しずつ刺激を
加えていく…

女の人におちんちんを
なめられるって
なんてイヤらしいんだろう…
ふふ…また硬くなってきたね…♡



少しずつクチにくわえる部分を
増やしつつ
今度は手で竿を
擦りはじめる…

ちゅ…じゅる…♡

はむ…んっ…じゅるる…♡

どう…?

気持ちイイ?

なめられるのと

擦られるのを

同時にされる感覚…

すぐに下腹部全体に

快感が広がる…

ふふ♡

ビクビクして可愛い♡

君のおちんちん

骨抜きにして

あげるんだから♡

あむ…じゅぽじゅぽ…♡

んっんっ…♡あむ…♡

じゅるるるるるッ♡

ちゅ♡♡♡

じゅる♡

ちゅ♡♡♡

んっ♡!

奥の方までくわえこみ
ノドの奥の柔らかさと
温かさが伝わってくる…

そんなにくわえたら
汚いです…

ふふ…♡ボク君の身体で
汚いところなんてないよ♡
もし汚くてもお姉さんが
全部キレイにナメとってあげる♡

じゅぼじゅぼ…♡じゅるるん♡
ちゅっ…ちゅっ♡んっ…♡
おちんちん美味しい…♡

ほら…ごういうのも
好きでしょ…♡

あいた手で玉袋を
サワサワと触ってくる…

ああ…それダメッ!

うふふ…♡

いちいち反応が可愛くて
お姉さん嬉しくなっちゃう♡
いっぱいシテあげる…♡

いゅぽいゅぽ

いゅぽいゅぽ

もみもみ♡
さわさわ♡

びゅるるるッ!!
熱い精液が
涼子さんのクチの中に
吐き出される…

んんっ…♡♡
あん…♡♡♡♡♡♡♡…っ♡
んっ…♡♡♡♡♡♡♡…♡♡

一瞬驚いた涼子さんだったが
ボクのおちんちんから出た
精液を愛おしそうに
飲みはじめ…
すごくエツチな光景だ…



ふふ…♡
ボク君の精液すごく熱くて
びっくりしちゃった…♡

射精した後に
汚れたおちんちんを
キレイに舌でペロペロと
なめとってくれる…

舌でなめるといふ光景に
興奮したボクはまた
おちんちんが硬くなりはじめ…

うふふ…♡
まだまだこれからだよ…♡

♡♡♡!



そう言っですぐにまた

涼子さんはボクの

おちんちんをくわえはじめる…

今度は無言のまま

おちんちんをくわえたり

なめたり…竿をしごきはじめる…

ただただイヤらしいコトを

している行為に集中し

すぐにまた次の快感が押し寄せてくる…

じゅぽじゅぽじゅぽ…♡

じゅる…じゅるる…♡

ぺるぺるぺる…♡んんっ…ちゅっ♡

女の子に
おちんちんを見られ

クチでしてもらうという

行為にボクは黙ったまま

興奮と快感でいっぱいになる…

ちゅっちゅ…♡んっ…♡

あん…♡じゅぽっちゅっ…じゅる…♡



二度も射精したのにすぐにまた
射精感がたち昇ってくる…

ちゅ…んっ…♡いいよ…♡
ボク君が射精したい時に
いつでも射精していいからね…♡

そう言って手やクチの
動きが激しくなり
おちんちんへの刺激が強くなる…

涼子さんがボクの精液を
搾りとろうとしている…



じゅるるっ…♡あんっ…♡
じゅぽじゅぽじゅぽ…っ♡

びんびんっ

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

じゅわんわん!!
じゅぽっ じゅぽっ じゅぽっ じゅぽっ

びゅびゅーっ!!
びゅるるるっ!

熱い精液がほとばしり
涼子さんのノド奥に当たる…

んんっ…♡あん…♡

じゅるじゅる…♡ぐわっ♡

んっ…ペロペロペロ…♡♡

イヤな顔一つせず
精液を飲み干していく…

ふふ…三度目なのにこんなに…♡

ホントにエツチなんだから…♡

お姉さんこんなに精液飲まされて

妊娠しちゃうかも…♡

天使のような笑顔で

冗談を言いながら

精液で汚れた

おちんちんをキレイに

なめとってくれた…



数日後…

消灯時間が過ぎ
シンと静かな病院内…
ボクは布団をかぶって
寝ていると

なんだか体が重い…
それに人の気配がする…

眠たい気持ちを払って
目をあけると…

えっ…なんでお尻が…

目の前には大きなお尻と
黒い下着が見える…
よく見ると涼子さんが
覆い被さっているのだと
わかった…

あれ…涼子さん…？

あ…ボク君起きた…？

うふふ…♡

寝ているボク君に
イタズラしようかなって
コツツリ忍びこんだの♡

ポリン♡

よく見ると自分の服が

脱がされ…ズボンも

おろされかけていた…

何をされる所だったんだらう…

そんなコトより女性の股間が
目の前にあるせいで
ボクの視線は釘付けだ…
こんなにも間近で女の人のお尻や
パンツなんて見たことない…
イケないコトだとわかっていても
見ずにはいられない…

あん…♥お姉さんのパンツ…
丸見えになっちゃってる…♥
そんなに見ちゃ恥ずかしいよ…
でも…ボク君ならたくさん
見てもいいよ…♥

ボクはドキドキしながら
女性の股間を凝視する…

男と違って
おちんちんがないって
変な感じだ…



不思議に思う気持ちと
女性の身体への好奇心で
自然と股間へと手が伸びていた…

あん…っ♡
そんな所触っちゃ…あっ♡
んっ…♡…あっ…やっ…♡

ボクの指が触れるたび
涼子さんはイヤらしい声を
あげる…

あっあっ…っ♡
ソコ…っついちゃ…っ♡
んあっ♡…はあ…ああッ…っ♡
…ヤダ…あんッ♡

ボクは自分のスケベ心に
従って思うままに突いたり
擦ったりしてみる…



はあん…んっ♡
やあ…ソコ擦っちゃ…ああッ♡
あっあっ…やっ…はあんっ…♡
少しづつ指の動きを
激しくしていくと

涼子さんのあえぎ声も大きくなり
みるみるうちにパンツの染みが
大きくなっていく…
小さな豆のような感触に気づき
そこをイジったり
引っ掻いたりしてみる…

ああっ♡それっ♡
ダメッ…♡あっ…クリちゃん♡
イジっちゃ…♡ああああ…♡

あからさまに反応が大きくなり
涼子さんの弱いところだと
思ったボクは豆を重点的に
刺激しつつ割れ目部分も
同時に擦ってみる…



あああ…♡イイツ♡
それ気持ちイイよお…♡
あっあっ…♡…もっとイジってツ♡
クリちゃんとおまんこにえっちな
コトされるの…♡あっ…イイのお…
…あっあっあっ…♡あん♡…んっ♡
もっど…♡クリクリしてえ…♡♡♡♡♡

涼子さんはイヤらしく腰を
くねらせ…もっどして
欲しそうに股間を
押しつけてくる…

あっあっ…♡ダメツ…♡
そんなにされたら…
お姉さん…もう…♡
…ああああ…♡♡♡

声の様子から
限界が近いのがわかる…
そこでボクはさらに
指の動きを加速させていく…
あっそれ凄いッ…♡イクツ…イクツちゃうッ♡



あああああああ……♡♡♡♡♡
ぷしゅあああああああッ♡♡♡♡♡

いじっていた部分から
透明のしぶきが吹き出し
涼子さんの身体が
ビクビクっと震える……

んっ……あっ……♡

それからしばらく身体を震わせ
余韻に浸っているのがわかる





もうボク君ったら…
お姉さんにこんなコトするなんて…
ホントにエッチなんだから…♡

お姉さんがイタズラする
つもりだったのに…
今度はこっちの番だからねっ♡

そう言って今度は
ボクを見下ろすような
体勢になり足でボクの身体を
さすってくる…
またもパンツが丸見えだ…

うふふ…♡
イタズラ好きな悪い子には
どうしちやおっかな…♡

足先でボクの胸をさすったり
乳首を突いたりしてくる…

うふふ…♡足で君の
おちんちんイジメちゃうからね♡

足で器用に
おちんちんを挟んでくる…

ほらほら♡

お姉さんに足で踏まれる

気分はどう？♡

いつも手でされていたのと違って

スベスベの感触が

気持ちイイ…

それに見下ろされながら
だと変な気持ち
が沸きあがってくる…

んん

んん

スベスベ♡



ふふ…♡もしかして
ボク君こゝういうの好き?♡

本当に変態さん

なんだから…♡

そんな悪い子には

オシオキしなきゃね…♡

足裏でスリスリと

おちんちんを擦りはじめ…

少しずつ快感が

広がりはじめる…

は…♡

シコシコシコ…♡

シコシコ♡

シコシコ♡

おんん♡

女の人のパンツ見ながら
足で踏まれて気持ちイイ?
たくさん踏んであげる…♡
ぐりぐり…♡

うふふ…♡必死にパンツ見て…♡
本当に気持ちいいんだね♡

ほくら♡ボク君の好きな
裏スジも擦ってあげる…♡

こういうのも好きだよね♡

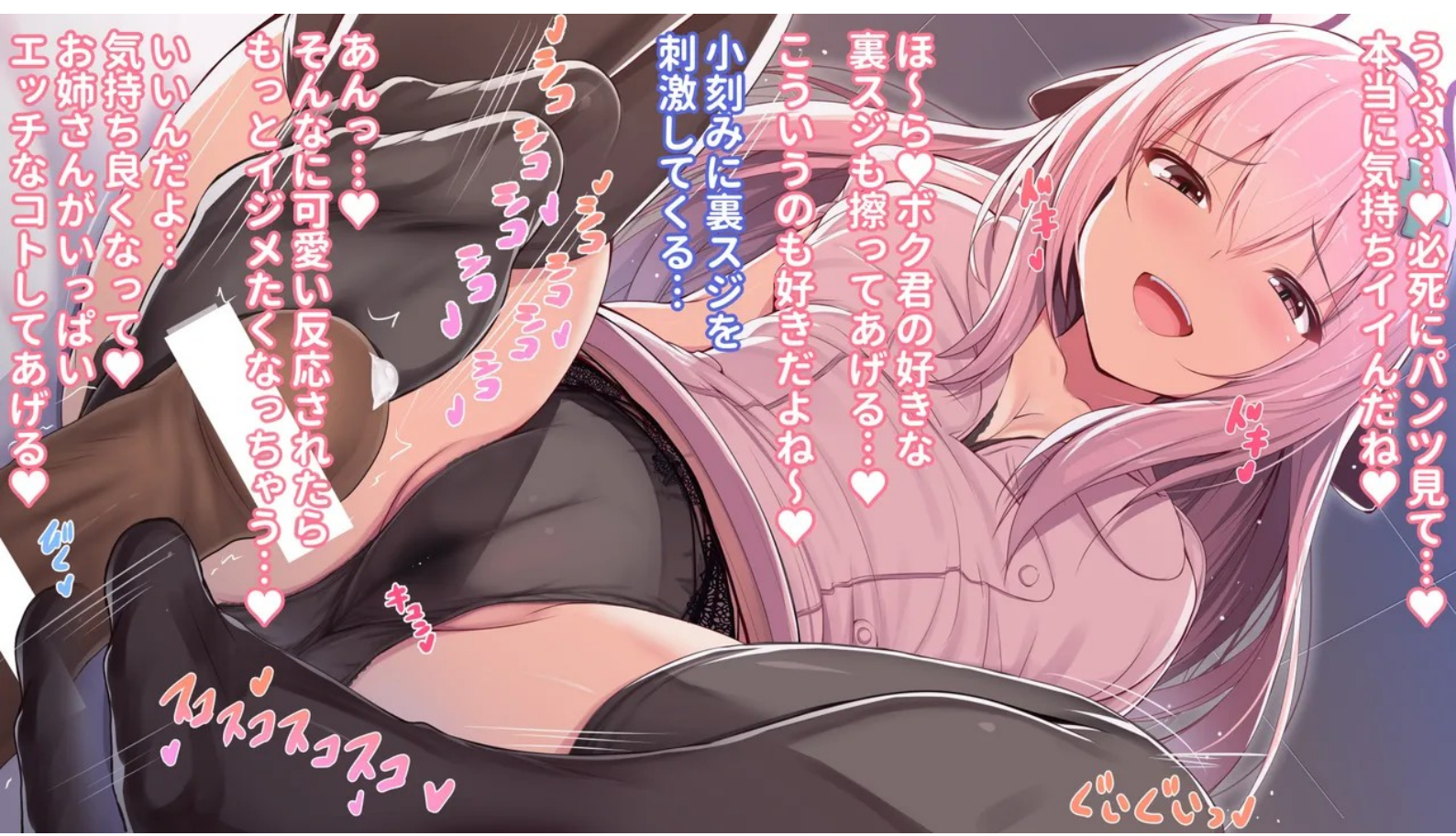
小刻みに裏スジを
刺激してくる…

あんっ…♡
そんなに可愛い反応されたら
もっとイジメたくなっちゃう…♡

いいんだよ…
気持ち良くなって♡
お姉さんがいっぱい
エッチなコトしてあげる♡

ススススス♡

ぐいぐい♡



ピタッ……ふいに
涼子さんは足の動きを止める

ああ……どうして……?

もうすぐ出そうだったのに……

うふふ……まだタクメ♡

イタズラした悪い子には

オシオキしなきゃね♡

ほらほら♡イケそうで

イケない感じどう……?♡

さすさす……スリスリ……♡

……
……
……

出る寸前だった所から

今度は優しい動きに変わる……

凄く気持ちイイのに

ギリギリの所で加減されてる……

↑↑↑↑↑

イケそうでイケない状態が
こんなに辛いなんて…
ああ…出させて…!!

うふふ…♡どうしようがな〜♡
スリスリスリスリ…♡

弱い刺激で
射精寸前を維持してくる…

じゃあ♡
ボク君がお姉さんのコト

どう思ってるか
教えてくれたら
射精させてあげる…♡

え…それは…

ほらほら♡
どうなの？♡

スリスリスリスリ…♡

刺激を強めボクに詰め寄ってくる…

♡スリスリ♡
♡スリスリ♡
♡スリスリ♡

ハッキリ言わないと
いつまでもこのままだよ♡

ギリギリ射精しないように
ゆ〜っくり…すりすりシコシコ…♡
ず〜っと射精出来そうで出来ない
感覚味わわせてあげる♡

あああ…そんな…!!

涼子さんはわかってる…
ボクの気持ちはどうなのか
わかっててボクのクチから
言わせようとしてる…

どうなの…♡スリスリスリ…♡シコシコ…♡



…好きです！

ボクは涼子さんのコト…大好きです！

あんっ♡嬉しい♡

ボク君から好きって
言ってくれるなんて♡

うふふ♡

お姉さんも…ボク君のコト
大好きだよ♡

キゅん

じゃあよく言えたご褒美に
いっぱいエッチしてあげる♡



うふふ…♡それじゃあ
今度は途中で止めたりしないから
覚悟してね…♡

は〜い♡シコシコ♡
裏スジも竿もタマタマも
いっぱいイジってあげる…♡

気持ちイイ?♡いいんだよ
いっぱい気持ち良くなって♡
お姉さんが最後までシテあげる♡

さつきまでとは
比べものにならない
快感が駆け巡ってくる…♡

ほら射精して…♡
女の人のパンツ見ながら
足で踏まれて…♡
イヤらしい精液でいっぱい射精して♡

シコシコシコシコシコ♡

ああ…！射精るっ！
びゅるるるるるっ！

あんっ♡こんなにいっぱい♡
うふふ♡我慢してた分いっぱい
溜まってたのかな♡
お姉さんのニーツ…君の精液で
汚れちゃった♡

びゅるるるるる！！

まだおちんちんに残ってる分
出させてあげる♡
スリスリスリ…♡

スリスリ♡

射精した後も

刺激を続けさらに

絞りあげてくる…

びゅるるるるる！！



ふふ……♡
気持ち良かった……?
ちゅっ……♡

そう言って
ボクを押し倒し
胸を押しつけたまま
軽くキスをする……

はむ……♡んっ……♡
……ちゅっ……♡あん♡
んっ……♡ちゅっ……♡

しばらくの間
ボク達はキスを
味わうかのように
優しいキスをしあう……



ちゅっ♡

ちゅっ

おにっ

ちゅっ



涼子さんは裸になり
おっぱいが丸見えになる
ふふ…♡そんなに見
ちや恥ずかしいよ♡

こんなに大きくてイヤらしい
おっぱいを目の前にして
見るなという方がむずかしい
これからどんなコト
すると思う…??

よくわからないけど
エッチなコトだという
コトはわかる…

えへへ♡
ボク君のおちんちんを♡
楽しそうに

手でおちんちんを
すりすりとさすってから
涼子さんはそれを股間にあてがう…

ずぶぶ...とおまんこに挿入していく...

あん...ん...♡

あっ...おちんちん...♡
入ってくる...ああ...♡

ずっぽりと根元まで入ると
涼子さんは一息ついて

うっとりしている...

動いてないのには

あたたかくて気持ちいい...

うふふ...♡

繋がっちゃったね♡

ボク君とお姉さんの一番

エッチな所で

キスしちゃった♡

そんな風に言われて
ボクも興奮してしまう...

あん...♡

おちんちんぴくって動いた♡

ほらほらどう？

お姉さんのおまんこ気持ちいい...♡



涼子さんは動かないまま
器用に中を動かして
刺激を与えてくる…

気持ちいいです…

ふふ…♡

これからもっと気持ち
良くしてあげるんだから
覚悟してね…♡

今夜は寝かさないんだから♡

そう言って

涼子さんは少しずつ

腰を動かしはじめ
大事なところ同士が
擦れあう…

すると今まで

経験したことのないような

快感が襲いかかり

すぐに余裕がなくなる…

ほらほら♡お姉さんに

犯されてる気分はどう？



ゆさゆさ♡
ゆさゆさ♡
ゆさゆさ♡
ゆさゆさ♡
ゆさゆさ♡

ぷるんぷるんと大きなおっぱいを揺らしながら涼子さんは何度も腰を上下させる…はじめて見る光景に幸せを感じる…ふふ…♡おちんちんビクビクってしてるよ♡じゃあ…こういうのはどう？ぐりぐり♡

涼子さん腰を回転させたりイヤらしく腰をくねらせたり小刻みに上下の動きを早くしてくる…動きを変えるたびに今までとは違う快感がうまれそのたびにボクは反応してしまう…

あん♡可愛い…♡ボク君の感じてる顔もっと思わせてもっと思わせてあげる…♡えいえいっ♡こういうのもイイでしょ？



うふふ…♡私たち
身体の相性すつごくイイね♡
ボク君のおちんちんが良すぎて
やめられなくなっちゃいそう…♡

涼子さんも少しずつ息が荒くなり
快感が強まっているのがわかる…

ほらほら♡ボク君も
忘れられないセックスにしてあげる♡

ボクの乳首を
指でイジりはじめる…

男の子も
乳首イジメられたら
嬉しいでしょ♡

ボクはまた
それに反応してしまい
涼子さんを喜ばせる…
もう完全に涼子さんの思いのままだ…
えいえいっ♡くりくり♡



びゅるっ！びゅるるるっ！

ボクの精液が

女性の大事な所へ吐き出される…

ああ…♡♡♡

熱いのが…♡奥に当たってる♡

いっぱいびゅーって…♡

ボク君の精液…膣内に出てるよお♡

びゅっびゅっ

出るたびに涼子さんは

頬を染め…

嬉しそうに反応する…

あん…♡

お姉さんの膣内…♡

君の精液で汚されちゃった…♡

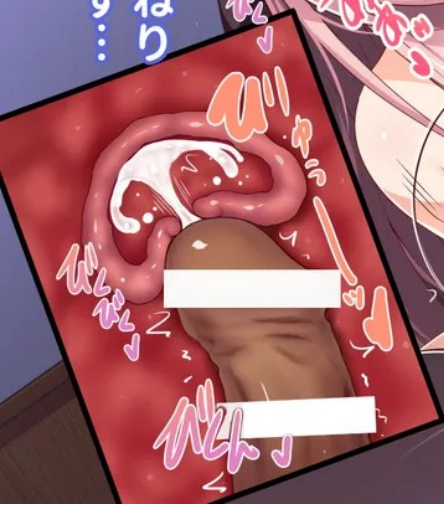
びゅるるる!!



射精した後も

イヤらしく腰をくねり

最後まで射精を促す…



もう…ボク君ったら♡
あんなにえっちな射精されたら
お姉さんその気になっちゃうじゃない♡

涼子さんは再びボクを
押し倒しキスをする…

んっ…ちゅっ♡
…ちゅっちゅ♡
あむ…あん…♡ちゅっ♡

イヤらしくねっとりとしたキス…
まるで恋人同士が
お互いを確かめ合うように
唇を貪りあい…舌をなめあう…

ちゅっちゅっ♡
んっ…んんっ…あっ♡

ドキドキ♡

大きいおっぱいをボクに
押しつけたまま
長い時間キスをする…



ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

むいっ♡

ぎゅっ♡

今度はお姉さんも
手加減しないんだからね...♡
さっきまでとは逆向きに
ボクの上にもたがり
位置を調整しながら
おちんちんを挿入していく...
キレイなお尻が丸見えだ...

ああん...♡
やっぱりボク君の
おちんちんおつきい...♡
ああ...んっ♡

根元までおちんちんが入り
さっきまでとはまた
違った中の感触に
興奮を覚える...



んっ♡

ズッ♡

ズッ...♡

それじゃそのまま
じつとしててね…♡
お姉さんがしてあげる…♡

んっ…んっ♡
あっ…♡

腰が動きはじめ…
大きなお尻が上下に
ぷるんぷるんと揺れる…

あんっ…あっ♡あっ♡
んっ…♡んっ♡
あああ…♡

お尻が見える体勢に
なったせいにか
ボクが女の人に
イタズラしているような
気分になり変な
興奮を覚える…



お尻の穴が丸見えなせいで
つい指がのびてしまう…

きゃあっ♡どこ触って…

ふああん♡ああ…ダメツ♡

そんな…お尻は…あん♡

お尻の穴に触ると

今まで聞いたこと

ないような声をあげる…

そこは…っ♡あっ♡

やだ…そんなところ…♡

ダメっ♡…あっ…だめえ♡

クチでは嫌がりつつも

気持ち良さそうに

身体をくねらすのを

見たボクは嬉しくなり

好奇心にまかせて

色々な触り方をしてみる…





あああ…ツ♥そんなツ♥
お尻ちゅぽちゅぽってしちやツ♥
やあ…ツ♥あんっ…♥
あっあっあっ…だめえ…♥

かなり気持ちイイのが
あえぎ声も大きくなり
腰の動きも
はやくなつていく…

あっあっあっ♥
お尻…♥お尻…イイのツ♥
ああ…♥おちんちん挿入れながら
お尻触られるの好きイ♥
それもっとしてえ…♥あっあっ♥
いっぱいチュポチュポしてえ…ああ…♥
ついには涼子さんから

もっど欲しいと言ったのを見て
ボクはさらに指の動きを早め
何度もお尻の穴に指を出し入れさせる…

ちゅぽ♥
ちゅぽ♥
ちゅぽ♥
ちゅぽ♥
ぐちゅ♥
ぐちゅ♥
ぐちゅ♥



あああッ♥それダメッ♥
イク…ツ♥イクツ♥
ああああああッ♥
股間からしぶきをあげ
涼子さんは絶頂する…

あああ…♥
ふあああ…あッ♥
んあッ…♥

涼子さんは幸せそうに
とろんとしている…
ああああ…ツ♥
…んっ…んはあ…ツ♥
あッ…んっ…あッ♥

イキイキイキイキ

キーン♥
キーン♥

びんびん…

びん

びん

そこでボクはすぐに
またお尻をイジりはじめる…

あっあっ…♡

ヤダっ…♡またイジッちゃッ♡

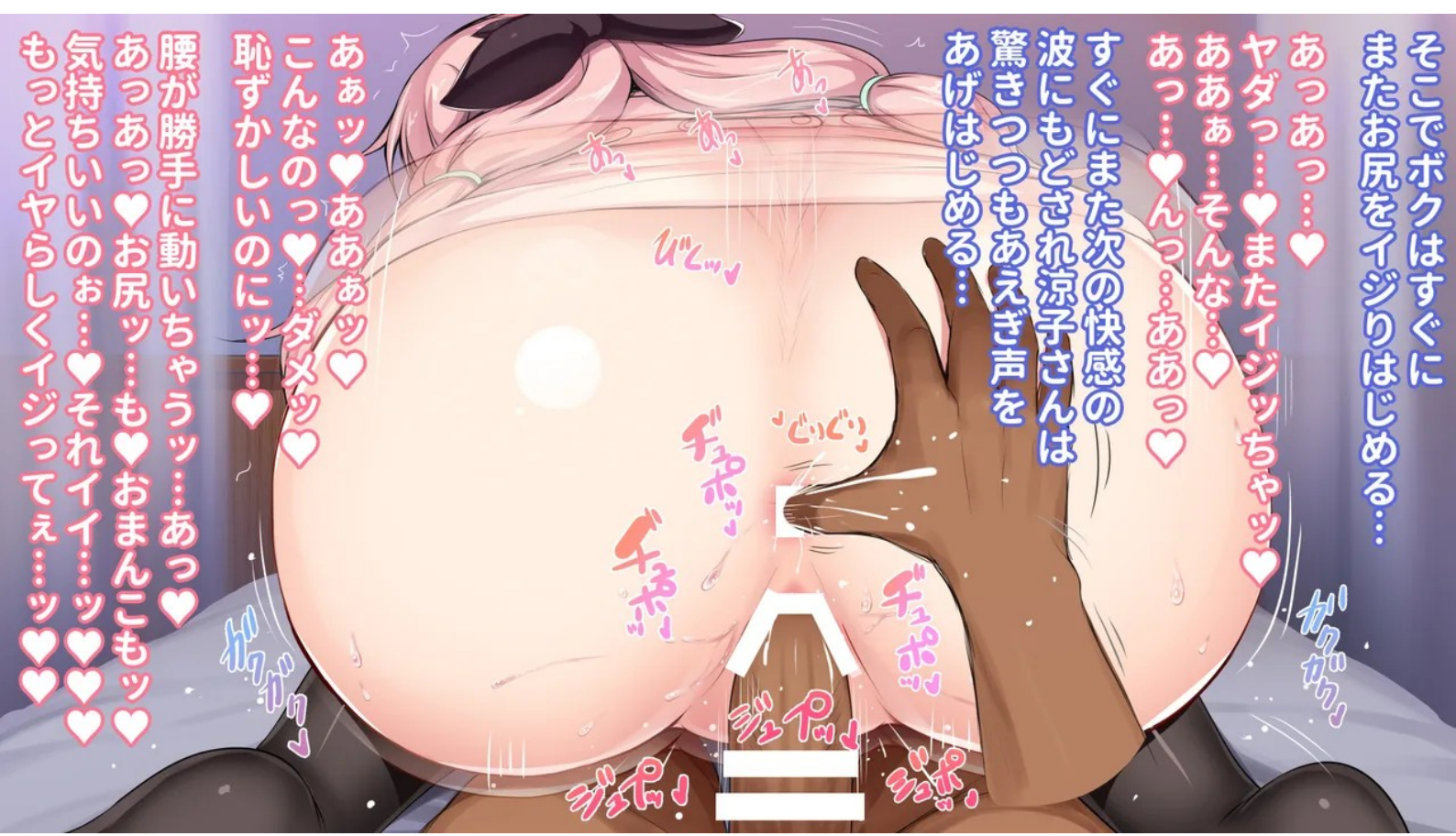
あああ…そんな♡

あっ…♡んっ…ああっ♡

すぐにまた次の快感の
波にもどされ涼子さんは
驚きつつもあえぎ声を
あげはじめる…

ああッ♡ああッ♡
こんなのっ♡…ダメッ♡
恥ずかしいのにッ…♡

腰が勝手に動いちゃうッ…あっ♡
あっあっ♡お尻ッ…も♡おまんこもッ♡
気持ちいいの♡…♡それイイ…♡
もっ♡とイヤらしくイジってえ…♡



あっあっ…♡あぁあ…♡
おまんこも…♡お尻も…♡
凄いの♡あっ気持ちイイ…♡
ふぁぁあ…♡んっぁんっ♡

涼子さんのあえぎ声は
余裕がなくなり
気持ち良さだけを求める
ような声になっていく…

ボクも段々と
余裕がなくなり
腰の動きも
はやくなっていく…

射精そうなの…？
いいよっ♡射精して…♡
一緒にイこっ♡
あっ…♡お姉さんの膣内に
イヤらしいの射精してえ…♡あっあっ♡



ふあああああ…ツツ♥♥♥
ビクビクツ♥ぷしゅああああ…♥
涼子さんのおまんこから
水しぶきが吹きだすのと
同時にボクも射精する…
ああ…♥
熱いの…こんなに…♥
あっ…んっ…♥

おまんこの間から
白いドロドロの液体が
あふれ出してくる…
涼子さんはしばらくの間
うっとりした表情で
気持ち良さそうにしていた…



もう…ツ♥

いきなりお姉さんのお尻に
イタズラするなんて…
ビックリしたんだからね…♥

怒っているような

口調けど少し

恥ずかしそうな嬉しそうな
言い方だった…

ふふ…♥でも

気持ち良かったから

許してあげる♥

これからもいっぱい

色んなエッチしようね♥

…ちゅっ♥

そう言っただけ涼子さんは
最後に優しいキスをしてくれた…

続く…

















































































































